

『第7回沖縄県臨床研修病院合同説明会』開催報告

実行委員 二 木 良 平 (5年次)

医師免許取得後、2年間は臨床研修指定病院で様々な科を研修することが必修となった新臨床研修制度が平成16年に発足してから11年が経ちました。また、新しい専門医制度が2017年度から開始するという変動の中にあるということもあって、現在の医学生は自分の進路について多く悩まされていると思います。

琉球大学の学生は在学中に病院見学をさせて頂く機会は多くなく、また県外では多く行われているような病院説明会は沖縄ではほとんど開催されていません。そんな中、沖縄県内の臨床研修指定病院が一斉に集まって行なう合同病院説明会は学生にとっては非常にありがたいものです。

今年の合同病院説明会では、沖縄県内の15研修指定病院全てが参加してくださいました。参加者は学生が90名以上、病院関係者の方が50名以上とお見えになりました。開催方法は例年と同様、プレゼンテーション会場とブース会場を設け、2つを同時並行で行なう形式を取りました。プレゼンテーション会場では、各病院が自身の病院の特徴などを7分ずつでプレゼンテーションを行ない、ブース会場ではさらに詳しく病院について聞きたい人のために病院関係者の方が質問に答えてくださっていた。今年はプレゼンテーション会場を2階、ブース会場を1階と前年とは違うレイアウトを行ないました。また、病院の場所は抽選制にして欲しいとの要望があったため、抽選制に変更し、公平になったと思います。他にもプレゼン

テーション開始の時間とブース設置の時間をずらしたことで、病院側は少し余裕を持って準備をおこなうことが出来たと思います。

今年も合同病院説明会に対して様々な改善案が出ました。学生側からの改善点として挙げられたのは、5年生、6年生は特に研修病院について興味をもつため、出来たら下の学年に設営やタイムキーパーなどの運営をお願いして病院の説明に専念できるようにした方がありがたいと言われた。病院側としては、ブース会場は狭い1階よりも2階を使用し、プレゼン会場を1階にした方が良く、ブース会場の場所取りに抽選制はとても良かったので、事前に抽選を行なって病院の配置表を病院や学生が見られるようにするとより良くなるなどの意見が出ました。こういった指摘を少しずつ改善していけば、合同病院説明会もさらに良くなっていくと様々な人の意見を聞いていて感じました。

最終的には、興味を持った病院に実際に見学し、雰囲気や様々な要素を加味した上で自分が行きたい病院を選択するかと思います。しかし、自分が興味を持ちそうな病院を考えると初めの段階では今回の合同病院説明会はとても重要な役割を担っていると考えられました。

最後になりましたが、今回ご協力頂きました病院関係者の皆様、企画の段階よりご支援頂きました医学科同窓会の皆様に対しまして、学生を代表し厚く御礼申し上げます。

